

スレオニンアンモニアラーゼ

Cat. No. EXWM-5279

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明

この反応を触媒するほとんどの酵素はピリドキサルリン酸依存性ですが、一部の酵素は代わりに鉄-硫黄クラスターを含んでいます。両方のタイプの酵素によって触媒される反応は、水の初期除去によってエナミン中間体を形成することから始まり（したがって、酵素は元々EC 4.2.1.16、スレオニン脱水素酵素として分類されます）、その後、イミン形態へのタウトメライゼーションとC-N結合の加水分解が続きます。後者の反応は自発的に起こることもありますが、EC 3.5.99.10、2-イミノブタン酸/2-イミノプロパン酸脱アミナーゼによっても触媒されます。いくつかの供給源からの酵素はL-セリンにも作用し、EC 4.3.1.17、L-セリンアンモニアラーゼを参照してください。

別名

スレオニンデアミナーゼ; L-セリン脱水素酵素; セリンデアミナーゼ; L-スレオニン脱水素酵素; スレオニン脱水酵素; L-スレオニンデアミナーゼ; スレオニン脱水酵素; L-スレオニン水分解酵素（デアミネーション）; L-スレオニンアンモニウムリラーゼ

製品情報

形態

液体または凍結乾燥粉末

EC番号

EC 4.3.1.19

CAS登録番号

774231-81-1

反応

L-スレオニン = 2-オキソブタン酸 + NH₃ (全体反応); (1a) L-スレオニン = 2-アミノブテン酸 + H₂O; (1b) 2-アミノブテン酸 = 2-イミノブタン酸 (自発的); (1c) 2-イミノブタン酸 + H₂O = 2-オキソブタン酸 + NH₃ (自発的)

備考

このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法

短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。